

今週の1枚

“引き出しの肥やし”がようやく出会えた 最も真剣なユーザーたち



オフィスに死蔵されている文具を集めてカンボジアに届けるボランティア活動を始めたオフィス用品通販のベンチャー企業、カスタネット（京都市南区）の植木力社長が、4月下旬、初めて現地を訪れ、文具を寄贈した。生まれて初めてノートを手にした子どももいる。植木さんは「本当でないものづくし。でも子どもたちの目がきらきら輝いていて、日本の子どもが失ったものを持っている感じがした」と話す。ボランティア活動はユーザーの共感を呼び、本業の営業活動にもプラスに働き始めているという。

（フノンベン郊外のフレックスバイ小学校で=写真提供・植木力さん）